

# 北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

**部会名** 令和6年度臨時本人中心部会

**開催日時** 令和6年9月17日（火）13：30～15：00

## 参加者所属機関名

中野市心身障害者共同作業訓練施設竹馬、りんごの本共同作業所、中野市びあワーク就労支援施設、マッシュルーム、クローバー、のぞみの郷高社、常岩の里ながみね、ほくしん圏域就業・生活支援センター、ふっくら工房ふるさと、ももの本、つくしの家、北信圏域障害者総合相談支援センター（事務局）

## 本日のテーマ、課題等

- ① 前回の振り返り ② 今後に向けて ③ その他

会議で話し合われた事

### ① 前回の振り返り

○今後については、本人中心部会のあり方については以下の3つの方向性について協議を継続。

- ①テーマを決めて部会の存続 ②任意組織として活動を継続 ③一部の機能を他部会に移管し解体

### ② 今後に向けて

○本人中心部会が発足当初に果たしてきた役割は、障害福祉サービスや制度が十分に整備されていなかった時代に、地域における「本人中心」の支援体制を充実させることだった。当事者に対するニーズ調査や、当事者の活動を広げる見学会の実施、部会内の当事者団体の支援などがその具体的な取り組みとして行われてきたが、制度や福祉サービスが進化し、相談支援体制が本人中心の形で提供されることが当たり前となってきた今、その役割が曖昧になった。現在、地域において「本人中心」の考えが根付いているため、部会を解体とする方向で検討。現場の支援者が多く参加される部会だった為、参加者の中からは、現場の支援者が課題検討や情報交換を行う場が必要だとの意見がだされ、協議会内や任意の形で新たな会を発足させることについても提案されています。

### ③ その他